

ワークシート・資料編

公共ワークシート 「各政党が目指すのは小さな政府？大きな政府？」

ゴシック体は生徒の記載例

ワーク1 小さな政府、大きな政府について確認しよう。

小さな政府：国家の介入が少ない。税金が安い。公共サービスが少ない。法律が少ない。
大きな政府：国家の介入が多い。税金が高い。公共サービスが充実。法律が多い。

ワーク2 2021年の衆議院総選挙の政策を調べ、各政党の立ち位置を決めよう。

調べた政策を、小さな政府的か大きな政府的か分類しよう

自民 小～なし

大～消費税減税無し、夫婦別姓賛成と言わない、分配は非正規労働者などに支援

立民 小～消費税は時限的に5% 夫婦別姓に賛成 所得1000万円以下の人所得税免除(時限的)

大～低所得者に12万円渡す

維新 小～消費税は時限的に5% 夫婦別姓に賛成

大～ベーシックインカム検討

公明 小～夫婦別姓は賛成

大～消費税減税なし 高3までの子どもに10万円渡す マイナポイント3万付与

国民 小～消費税は時限的に5% 夫婦別姓に賛成

大～全員に10万円(低所得者は20万円)渡す

共産 小～消費税は時限的に5% 夫婦別姓に賛成

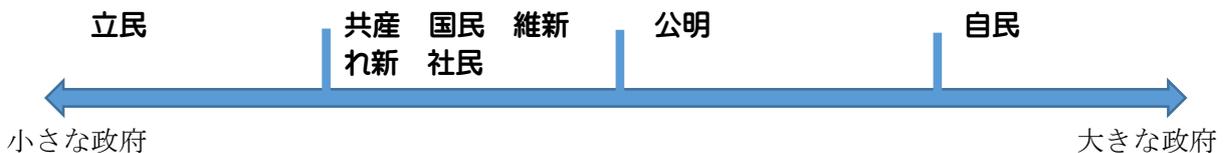
大～所得1000万円未満の人に10万円渡す

れ新 小～消費税を廃止 夫婦別姓に賛成

大～最大3か月間、20万円を渡す 所得税と法人税の課税強化

社民 小～3年間消費税0% 夫婦別姓に賛成

大～10万円渡す



ワーク3 他グループの意見を聞いて、政党の立ち位置を修正してみよう。



修正した点とその理由

- ・自民を小さな政府寄りに、他を大きな政府寄りに
→教育無償化について、自民党は明言せず、他は全て賛成だから
- ・自民と維新を小さな政府寄りに、れ新と共産を大きな政府寄りに
→国家戦略特区による規制緩和について自民と維新が賛成で、れ新と共産が反対だから